

帯小の窓

通いかい、通わせかいある学校、今日もおもしろかったな

～ 学校教育目標 ～

- よく考え、意欲的に学ぶ子
- 命を大切に、たくましくやりぬく子
- 豊かな心を持ち、協力し合う子
- 勤労の大切さを知り、すすんで働く子

NO. 22 令和7年10月10日 発行

校長 黒島 俊一

美しい日本語がもつ言葉の力

上半期を折り返し、すっかり涼しい気候になりました。毎朝の道路で、休み時間、授業等で教室にお邪魔した時など、子どもたちから笑顔で元気あふれる「おはようございます」「こんにちは」を受けると、気持ちが明るくなり、いい一日の予感が沸き立ち、どんな流行のことばよりも、短い挨拶の「言葉の力」を日々感じるものです。

昔、ある放送局のアンケートで「美しい日本語」についてのアンケートをとったところ、数ある言葉の中から、次のことばが上位に選定されたそうです。

1位「ありがとう」 2位「さようなら」 3位「はい」 4位「すみません」 5位「おはようございます」

以下、「さわやか」「いらっしゃませ」「おやすみなさい」「どうぞ」「いいえ」と続くそうです。

私たちの日常生活で、小さい時から自然に使われている言葉が「美しい」というニュアンスは、どうもピンとこないかもしれませんが、人と人を結び、互いの心と心を通わせ合う、楽しく、居心地の良い家庭や学校、社会を創り出す身近な手段こそ「美しい」ということなのかもしれません。

コミュニケーションとしての言葉は、時として言っている、使っている本人に悪気はなくても、周りの人を知らず知らずのうちに傷つけてしまっていることがあります。最近ではSNS上での正義を振りかざしての罵詈雑言、人権侵害的な誹謗中傷なども社会問題化しています。言葉は、人の感性や情緒が基盤で、その人の発する言葉一つで、人柄や人間性が見えてきたりもします。発する言葉から、私たちは自分が思っている以上に影響を受けていること、また逆に自分の言葉で周りに影響をあたえているかもしれないことを自覚しなければならないと思うのです。

学校、家庭、地域がそれぞれで、「言葉の力」を自覚して、未来を担う子どもたちの心を育み、正しい日本語と使い方を身につけさせたいと思うのです。



通知表を渡しました 子供への評価は 教師自身の評価と受け止め

過日、上半期の子供たちの学習状況を記録に残し、今後の指導に生かす「通知表」を配布しました。一人一人の子供たちの具体的な頑張りを認め、担任教諭の思いを伝えながら、一人一人に時間をかけ丁寧に説明と声掛けをして渡したところです。ご家庭ではどんな会話をされたでしょうか。

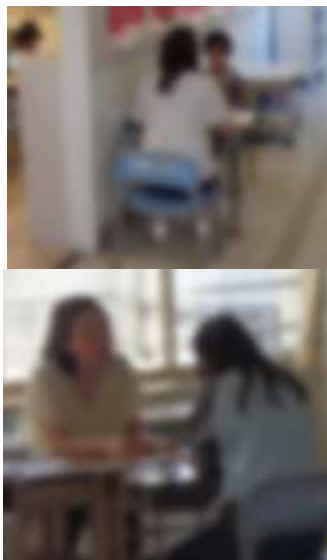
ご家庭では、ぜひとも単純に評価のAやBの数比べるのではなく、お子さんの頑張りを肯定的にとらえ、認めてあげてほしいと思いますし、担任は今回の評価を後の指導に生かし、指導する責任を果たしていこうと考えます。子供への通知表は、指導する教員自身の評価でもあります。結果を記録して積み上げ、学年末に向け、結果の責任を果たす指導を進めて参ります。

少し前になりますが、国立教育政策研究所による小中高生への「学習意欲について」のアンケートでは、「やる気が出るときはどんな時か」という問いに対して、上位の回答には、

「授業がよくわかる時」「授業が面白い時」「将来就きたい職業に関心を持った時」

などがあげられていたそうです。子供の学びの意欲を高めるための「わかった」「おもしろい」の大切さがわかる結果でもあります。

引き続きご家庭とともにお子さんの心の安定とやる気の出る環境づくりに向け、下半期もどうぞよろしくお願いいたします。



不審者対応訓練講座



9月24日(水)に高学年と低学年に分かれて、帯広警察署生活安全課の岡崎傑巡查長が講師として来校され、不審者対応訓練講座が行われました。岡崎巡查長は、警察官になられる前は、テレビ番組「笑点」でおなじみの、三遊亭好楽さんのお弟子さんで、落語家「三遊亭ろうこう」の名で、プロの落語家としてのキャリアをお持ちの方でもあります。(写真左)

子供に声かけをする不審者役も務め、役割演技をしながら、そして警察官として子供たちに話しかける姿は、優しくも、心に染み入り、響く、語りです。自分の命は自分で守る、いざというときの身の守り方を、実感をもって学ぶことができました。

かけはし活動 5年聖公会幼稚園

校区にある聖公会幼稚園は、本校に入学した子供たちの中で、これまでも多数在籍してきた歴史ある、本校と縁のある幼稚園です。

今回は5年生が、年中(4歳児)の子供たちとともに、ふれあい、遊びながら、互いに笑顔あふれる楽しい時間を過ごしていました。将来の夢、職業選択を考えた子供もいたことでしょう。学びの場を提供いただいた聖公会幼稚園のみなさんに感謝いたします。



(写真 園児のつくるアーチをくぐる5年生↑)

10月1日より、新しい酒造事務員の小宮貴代さんが着任しました。帯広小学校の子供たちのため、おいしくて安心安全な毎日の給食配膳をどうぞよろしくお願いいたします

こみや たかよ 小宮 貴代 配膳事務員 (新規)

このたび給食配膳・収納事務として勤務することになりました、小宮です。給食の時間は、子どもたちにとって毎日の楽しみのひとつだと思います。その大切な時間を、安心して過ごしてもらえよう、笑顔を大切にしながらお手伝いしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

宜しくお願いします



嘉藤先生 毎日ありがとうございます

雨の日も風の日も、吹雪の日も、毎日学校そばのセブンイレブン前交差点で、帯広小の子供たちの安心安全を守ってくださっている、嘉藤 篤先生は、元東小学校の校長です。3月まで本校のコミュニティスクール委員も務められ、長く帯広小校区にお住まいになられている地域住民でもあります。ご退職直後から毎朝交差点にお立ちになられて、今年で8年目を迎えるとのこと、帯広小の子供たちのことをよく知る人物の一人ともいえます。

嘉藤先生からは、本校の子供たちについて、上級生が下級生の面倒を見たり、声をかけたり、仲が良くてとてもいい雰囲気が見られている、などお褒めの言葉もいただいています。挨拶はそのときの子供の気持ちなどで、さまざまな様子も見られるとのことでした。

「素敵な挨拶」。相手意識を持って、「視界に入れる」、子供たちの挨拶の向上を感じています。学校でも家庭でも、大事にしてほしい、心の架け橋「挨拶習慣」です。



帯広小の
今日のきらきらさん



帯広市スポーツフェスティバル
ソフトバレーボール大会
ファミリーの部3位 ルービックKY (写真左)

全十勝スポーツ少年団バレーボール交歓大会
兼
北海道スポーツ少年団バレーボール交流大会
十勝地区予選 (写真中央)
男子の部 優勝 帯広JJB

3年 横山 朔歩 さん
男子バレーボール少年団の快進撃が続いています。